

広報

708

2008
No. 655

チームワークの勝利。



■全国大会への夢かなう

7月20日、鳥取市で開催された第54回鳥取県消防ポンプ操法大会、小型ポンプ操法の部で見事優勝を収めた町消防団第1分団の選手の皆さん（左から、谷口若雄さん、奥田研二さん、佐野精彦さん、西村和宏さん、藤原康洋さん【関連記事：10ページ】）



根雨6区「河内おとこ節」



大迫力の日野川源流太鼓



夏の思い出の1ページ



役場・総合事務所「日野町音頭」



根雨3区「祇園鳴子ばやし」



夏本番、
まちが躍動

ね づ 祭 り

7月19日、ねづ祭りが、根雨地内で開かれました。

午後6時の花火を合図に9チームの踊りの列が根雨のまちなかを通り、沿道に訪れた人たちを楽しませ、祭りの雰囲気盛り上げました。

そのほか、盆栽、書道の展示や、勇壮な日野川源流太鼓(日南)も披露されるなど多彩な催しも行われました。

まちの通りには多くの露店が並び、また商工会青年部による屋台や野外ライブもあり、家族連れなどでにぎわいました。

祭りの締めくくりはやっぱり花火。600発の美しい花火が夜空を染め上げました。



日野病院「千恵っ子よされ」



根雨1区「ドンパン節」



根雨4区「傘踊り」



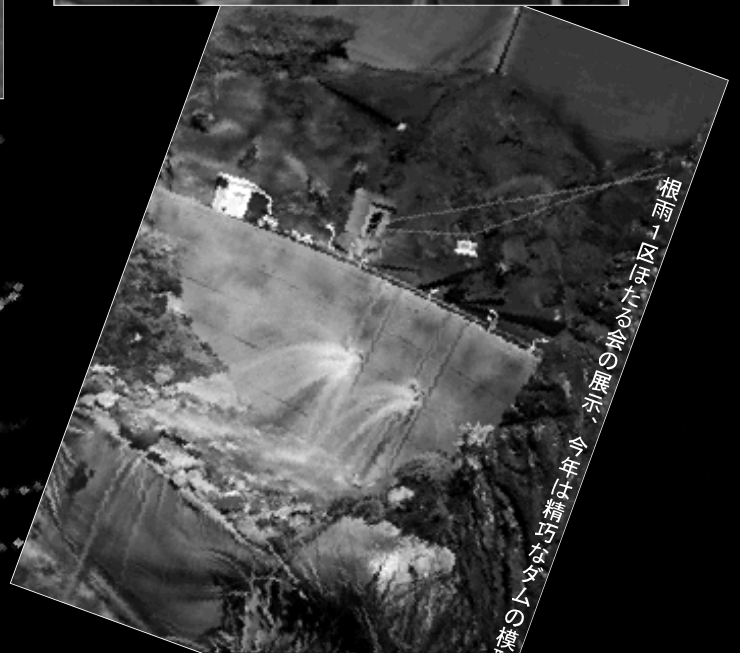
日翔会「ソーラン節」



根雨5区「日野町音頭」



露店ひじめくまの通り



根雨1区ほたる盆の展示、今年は精巧なタノの模

テーマを絞ってグループ討議 日野町まちづくり町民会議



これからのまちのあり方やまちづくりなどについて話し合う、第10回日野町まちづくり町民会議（松本豊文委員長）が7月24日、町役場で開かれ、委員20人が出席しました。

会議は2か月に1回開催

今回の会議には、委員20人のほか、景山町長も出席し、ふるさと納税制度や町の機構改革など、まちの現状などの説明が行われました。

そのあと、今回は議論のテーマを、主に「高齢者の実情把握」、「可燃ごみの減量化とリサイクルの推進方法」、「町民体育祭と小学校の運動会の合同開催」を主なテーマとし、3つの班に分かれ議論が行われました。

A班の討議内容

（主なもの）

同じ。もっといいことがあれば出かける人も増えると思う。

町民体育祭と小学校の運動会の合同開催について
・以前学校側としてはいたくないという回答だった。町民側、体育指導委員からは合同ではという声がある。

そのほかの意見

・こちらからどんどん意見を出せば役場は変わるし、自分たちも変わらなくてはいけない。毎年、町に要望を出している自治会もある。

・ごみ出しがきつくて誰か代わりにしてくれないかとの意見が自治会であった。そうはつきり言われる人もあれば、無理してごみを出される人もある。

高齢者の実情把握について
・高齢者施設やぼかばか教室などがあるが、それでみんなが満足しているか。年をとると不安な面があり、安心して暮らせるためにどういことを望んでおられるのか聞いてみたい。みんなが助け合っていかなくては進まない。それが人づくり。
・前回の会議で、高齢者施設の職員に来てもらって説明を聞きたいという話があった。民間は利益を追求するがいい面もある。町は負担もあると思われるので、両方の意見を聞いてみたらいいと思う。
・保健師に相談するまでに不安な面があり、それを少しでも解消できるようにまちでなければ。そこに出かけて楽しいことでもしながら不安なことを話せるような場所がこれからは必要。
・町ではぼかばか教室などで高齢者の間ではそんな話が出るようだが、家族がその話を聞いていない。家族のほうにしていくのが大事なのでは。

・ぼかばか教室も、参加者が



町民体育祭の活性化を

B 班の討議内容（主なもの）

▼高齢者の実情把握について

- ・まちの高齢者の実情を把握するため、町の包括支援センターに聞いてみるかどうか。
- ・介護認定を受けている人が再認定のときに介護度が軽くなる可能性がある。
- ・それによって施設が利用できなくなる可能性がある。
- ・そのあたりを聞いてみたい。
- ・介護認定調査に来られると、いつもより元気をだしてしまふようだから、そのあたり

を配慮して問診してほしい。

- ・認定から外れた人をいかにして戻してあげるのか、町独自のものができないか。また、その他の元気な高齢者の居場所をどのようにするか。
- ・現場に出る職員の声の生のか。現場に出る職員の生の声を聞いてみる。
- ・ほかほか教室にももう少し人が来てほしいが、声をかけてもなかなか来てくれない。
- ・私の地区では、ほかほか教室に合わせてほかの行事を

して、声かけの機会ができています。

▼可燃ごみの減量化とリサイクルの推進方法

- ・可燃ごみの中に新聞紙を入れて出す人があり、注意したいが人間関係が悪くなりそうなので話ができない。
- ・ごみの説明会でもしてもらったらどうか。
- ・ごみ処理に1軒あたりいくらか費用がかかっているか数字があると分かりやすい。
- ・役場からは自治会長あてにいつでも説明会をしてもらえる案内があるようだ。

ごろから考えておく。

可燃ごみの減量化とリサイクルの推進方法

- ・根雨のまちにもごみステーションが必要だ。
- ・雨の日に古紙を出している人がいる。濡れたら再生紙として利用できず可燃ごみになってしまふ。それぞれの意識の問題があるのでは。
- ・高齢者などでステーションまでごみを持っていくことができないのではないかとわかれるが、自治会でそういう人がいたら申し出てほしいと連絡したら誰も申し出てこない。問題は自治会でどうするかということ。自治会の取り組みが大事。
- ・ごみステーションは悪臭があつたり掃除をしたりと管理が大変。カラス対策も必要だ。
- ・町広報などでくぬぎの森への負担金額が公表されているが、金額が大きくてわかりづら。一人あたりとか一世帯あたりの金額やごみの量にすればわかりやすいと思う。
- ・マイバッグ運動など各自がごみの減量化に努めることが必要。

て。最近学校や保育所のグラウンドの芝生化が鳥取のほうで行われているようだが。

- ・反対意見だが、芝の管理は大変。学校も嫌がるのでは。
- ・実施した所では子どもが外で遊ぶ機会が増えたらしい。
- ・子どもたちが安心・安全で住みよいまちにするには取り入れるべきではないか。前向きに考えたい。
- ・限界集落の農地保全について。高齢化により農業をやめる家が出るなどさまざまな問題がある。郡民会議で農業に関する部会ができると聞いているので、タイアップして考えてみるかどうか。

話し合いを終えて

（全体会）

班ごとの協議のあと、再び全員で話し合いのまとめが行われました。

- ・今日の話し合いを受けて、次回のテーマを考えたい。
- ・ごみも頑張れば経費が安くなる。芝生を整備すれば子どもたちが遊べる。高齢化の問題もみんなで助け合うことが大切。
- ・8月中旬に介護保険や高齢者の問題について、町包括支援センターやケアマネージャーなど有識者を招いて研修する。

次回の会議は、9月25日（木）に開かれる予定です

C 班の討議内容

（主なもの）

町民体育祭と小学校の運動会の合同開催について

- ・町民体育祭と小学校運動会の合同開催について。すでに合同運動会を行っている学校の話聞いてみたい。
- ・地域、行政、学校、保護者が一堂に会して話し合う場が必要。住民の思いを学校に伝えたい。また学校の意見も聞きたい。

高齢者の実情把握について

- ・黒坂地区自主防災委員会では、民生委員会から各自治会で災害弱者を調べるよう依頼



ほかほか教室の充実を

があつた。黒坂は自治会で調べているが、災害弱者とは高齢者なのか分からない。

- ・黒坂地区は震災のときも動

ける体制ができていたと聞いている。各地域の弱者を把握し、体制を整えておくことが必要である。

- ・黒坂は高齢者ばかりだが災害弱者を助け出す計画を自治会で作っている。
- ・土砂災害の際、防災無線などで住民に周知するシステムがあるのか。
- ・降雨量が多いときには防災無線などで周知したほうが良い。

地域で弱者を助け出すシステムを確立しなければ。

- ・最終的には自分の命は自分で守る。災害が起きたときに自分がどう動けばよいかを日

そのほかの意見

- ・グラウンドの芝生化につい

誰もが地デジを見られるよう 国へ働きかけ

まちの地域情報化の取り組み（その1）

広報ひの6月・7月号の2回にわたり、「地上デジタル放送移行対応調査」と「地域情報化住民意向アンケート」の結果をお知らせしました。今回は、町としての地上デジタル放送移行への取り組みについてお知らせします。

地デジ移行について
共聴組合に説明会を開催

まず地上デジタル放送（地デジ）移行について、アンケートでは88%の人が「知っている」との回答でした。平成23年7月24日に、今のテレビのアナログ放送は停止し、デジタル放送へと完全に切り替わります。各家庭では、地デジが映るようにするため、テレビを買い換えたり、チューナーを付けたりするなどの対応をしなくてはなりません。

せん。また共同でアンテナを設置し共聴組合で受信している場合には、施設改修が必要になります。

町では、昨年9月から町内の共聴組合について調査し、26施設、約580世帯の住民の皆さんが共聴施設でテレビ放送を見ていることが分かりました。

今年3月23日には総務省や放送事業者を迎えて、共聴組合の代表者などの皆さんに説明会を開き、国の補助制度や現在のアンテナの位置で電波

を受けることができるかどうか調べる受信点調査などについて説明を聞きました。

現在、下榎地区内に地デジ中継局（中田野局）の整備が進められており、予定では9月中旬に試験電波を発信し、10月から本放送が始まります。

また、日南町の鬼林山の中継局（米子日南局）は、9月に本放送が始まる予定です。

町では、まず自主共聴（自分たちで作られた共聴組合）について、NHKの協力により、共聴施設の受信点調査を

行い、支援策を検討することにしていきます。

地デジ放送は住民や町の負担をなくし国の責任での移行を要望

また、アンケートでは「何の電波であれ、国と行政が責任をもって全地域を映るよう」にすべき「電気メーカー、放送業界の意向ばかりで国民は置き去り」「新しいテレビ、チューナーを買いお金がない」などの意見がありました。

また、地デジを見るための手段としてケーブルテレビを整備する自治体もありますが、アンケート結果では、「必要ない」「わからない」という人が約6割、加入についても「加入しない」「わからない」が6割以上を占めており、まだまだ検討の余地があります。5月19日に、県の情報政策課を通じて総務省に地デジ移行について提案・要望しました。（要望内容は次ページのとおりです）



説明会には多くの共聴組合代表者らが出席（山村開発センター）

地デジ移行についての 総務省への提案・要望（要旨）

地デジ移行のための共聴組合の改修には国の補助・助成制度があるが、補助率は国が半分、残り半分は自治体または共聴組合が負担するもの。地デジ移行は国策で、自治体や住民が望んだものではない。補助や助成という考え方でなく、国が責任を持って移行に当たってほしい。

地デジを見る手段として、放送を住民に提供する義務も責任も負っていない自治体が、巨費を投じてケーブルテレビを整備し、整備後も維持管理のために医療、福祉、教育などの他事業を圧迫して経費を負担するのはおかしいのではないか。

近年、大雨災害で国道沿いの電柱10本が倒壊し、町内の公共施設を結ぶ光ファイバーケーブルが断線する事故が発生。完全復旧するまで8か月かかった。これももしケーブルテレビであれば、復旧するまでテレビを見ることが

できない。鳥取県西部地震の経験から、無線が災害時において有効な情報伝達手段であると認識し、防災無線を改修し「安全・安心」な暮らしを支える重要な施設であると位置付け、運用、活用している。

携帯電話などで地デジ放送を見ることができると、ワンセグ放送を利用できるよう中継局を増設してほしい。（共聴施設、ケーブルテレビでは受信できない）

共聴組合では、組合員の減少、高齢化により共聴施設の維持管理に大変な苦勞をされている。共聴施設ではなく、個別に受信できるように中継局を増設してほしい。

電波は公共のもの。人口密度の多い都市部ばかりではなく、人口密度の低い中山間地域にも、公平に電波の恩恵が受けられるよう配慮を。

これらの提案、要望がどこまで国に通じるかはこれからの課題と考えますが、町では、今後の国の対応を見据えながら、アンケートの意見にもあった「テレビが見られなければ高齢者の楽しみがなくなる」ということが生じないよう、対応に努力していきます。

まちの介護予防だより 連載

役場健康福祉課（電話 72 0334）

カラダとココロの

介護予防

認知症について

認知症は脳に障害が起こることでの知的機能が低下し、日常生活を送ることが難しくなる病気で、誰にとっても身近な病気です。誤解や偏見をなくし、早期発見・対応につなげることが、認知症になつたときに、本人、そして周囲の人たちにとってよい結果を生みます。

認知症患者は、2005年には約150万人だつたものが、2015年には250万人に急増するといわれています。

認知症そのものは、ゆっくりと進行していきますが、治療や日常生活のしかたで進行を抑えることができます。ところが、認知症を放っておくと寝たきりの原因になります。認知症の症状は、周囲の人が気づいてはじめてわかるものです。最初は、日常生活のちよつとした変化から現れることが多いため、いつも身近にいる人なら発見しやすいといえます。「ちよつと変だな、

「以前の様子と違う」といった気になる言動がみられたら、認知症を疑ってみましょう。

見逃さない認知症のサイン
同じ話を無意識に繰り返す
知っている人の名前が思い出せない
物の置き場所を忘れる
今しようとしていたことを忘れる
理由もないのに気がふさぐ
人と会つたり外出したりするのをおっくうがる
身なりを気にしなくなる
料理や車の運転など、それまでできていたことができなくなる

気になる症状がみられたら、日野町地域包括支援センター（電話72 1852）までご相談ください。
包括支援センターでは、各種関係機関と連携して相談支援など必要な対応を行います。介護の悩みなど一人で抱え込まずに、相談ください。

認知症予防 5つのヒント

- 早期発見 早めに正しい診断を受ける
- 健康管理 脳卒中を防ぐ
- 運動習慣 体を動かせば脳も若返る
- 生活バランスを食生活のよくなる心がける
- 暮らし方 日常生活を送る

さわやかな湖畔の風浴びゴール目指す

中国山地日野 鵜の池マラソン大会

真夏の鵜の池高原で健脚を競う、第31回中国山地日野鵜の池マラソン大会が、7月27日、鵜の池湖畔で開かれ、町内外のマラソン愛好家ら約200人が参加しました。

競技は、湖畔を一周する2・3キロコースをはじめ、4・6キロ、6・9キロの3コースで年齢・性別による17クラスに分かれて行われました。会場ではJ A女性会などによるみそ汁無料サービスやバザーなどが行われたほか、今回

は、日野町産のコシヒカリやアユなどが当たる大抽選会も行われて盛り上がりました。

大会結果（町内入賞者のみ掲載、敬称略）

【Aクラス】第2位〃山本沙里菜、第3位〃松本美季、【Hクラス】第2位〃多賀涼、第6位〃多賀駿平、【Iクラス】第2位〃長住雅之、第3位〃安達奨悟、第4位〃池未裕輝、第5位〃生塩駿也、第6位〃檀田宏、【Lクラス】第1位〃長住康二



老若男女、誰でも参加できるのが魅力



仲良く手をつないでゴール



スタートは緊張の一瞬



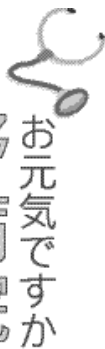
産の商品が並んだ抽選会



苦しみがやがて心地よい疲れに



声援にも力が入ります



日野病院です

日ごろの感謝を込めて癒やしのひとつときを

夕涼みコンサート in 日野病院



やさしい音色が響き渡る

日ごろ病院を支えてくださるま
ちの皆さん、患者の皆さんに癒やし
の時間を過ごしていただこうと、7
月25日、夕涼みコンサートを病院正
面玄関で開き、約100人が参加し
ました。

今回は、日野高校教員の石黒信行
さん(チェロ)、稲田真司さん(フ
ルート)、半那有美子さん(キーボ
ード)がクラシックや叙情歌などのな
じみ深い曲の数々を披露。「夏の思
い出」「浜辺の歌」「涙そうそう」な
どでは観客もいっしょに口ずさむ
など、楽しいひとときとなりました。

チャリティーバザーのお知らせ

国内の災害の被害にあつた被災地への募金を目的に
チャリティーバザーを開きます

日時 8月27日(水) 午前10時～午後3時ごろ
場所 日野病院正面玄関付近

いっしょに働きませんか

町内で求人募集している
企業を紹介します

安泰アパレル(株)黒坂工場 ~アットホームな職場づくりに~

安泰アパレル(株)黒坂工場では、主に婦人用のニット製品やシャツを縫製し、全国に出荷しています。従業員は約30人、1日約1000着の製品を縫製しています。

また、黒坂工場はISO 9001とISO 14001を取得、高い品質と環境への取り組みが国際的に認められているのも特長です。

工場長さんは、「黒坂工場は、地元の方が仕事と家庭を両立できる環境づくりに取り組んでいます。小学校も近くにあり、お子さんの緊急のときはもちろん、入学式や参観日にも出られるよう調整したりと、アットホームな職場で従業員も安心して働いています。また、縫製の仕事は、職が身に付く技能職です。未経験の方でもしっかり指導しますので、どんどん応募してみてください」と話します。



従業員のほとんどが町内の女性です

ミシンオペレーター(健康でやる気のある人)
を募集しています

募集年齢: 未経験者45歳まで、経験者55歳までの人

仕事内容: 縫製作業全般(各種ニット婦人服製造)

就業時間: 午前8時10分～午後5時(休日は会社カレンダーどおり)

賃金: 会社規定どおり 年次有給休暇、社会保険(労災保険、
雇用保険、健康保険、厚生年金保険)あり

問合せ

日野町黒坂 1550-1

安泰アパレル(株)黒坂工場

(電話 74-0508)

URL: <http://www.antai.co.jp/>

~求人情報掲載事業所を募集しています~

「広報ひの」では、求人募集を行っている町内の事業所を紹介していきます。
事業所の写真や募集内容、コメントなどを掲載する予定です。

掲載を希望する場合は、毎月25日までに役場企画政策課(電話 72-0332)までお申込みください。

まちの話題

あなたの声や地域・職場での話題を
お寄せください。
★役場企画政策課まで（電話72-0332）

快挙！5年連続総合優勝

郡民総合体育大会



猛暑にも負けず疾走

7月13日、第63回日野郡民総合体育大会（日野郡体育協会主催）が、江府町を主会場に開かれました。大会では、陸上競技、ソフトテニス、バレーボールなど11競技が行われ、日野町、江府町、日南町から多くの選手が出場し、熱戦を繰り広げました。日野町選手団は全競技に出場、ソフトテニス一般男子、卓球、バドミントンなど5種目で優勝したほか、総合得点では5年連続で優勝するなどの大健闘を見せました。

大会結果

陸上競技 男子〃第2位、女子〃第2位
軟式野球 第2位
ソフトテニス 一般男子〃優勝、一般女子〃第2位、壮年〃第2位
バレーボール 一般男子〃第2位、一般女子〃第2位、婦人〃第2位
卓球 優勝
バドミントン 優勝
柔道 優勝
剣道 第3位
ゲートボール 男子〃第2位、女子〃第2位
グラウンドゴルフ 男子〃第3位、女子〃優勝
ゴルフ 第2位
スポーツ表彰（敬称略）
ソフトテニス〃稲田和正、梅林尚美、頭本憲明、木村理沙、小谷真由、坂本茉莉乃、杉本香織、西村渚、西村賢人、西村美咲、長谷部友紀、楨原和也、山本龍星
テニス〃瀬田梢
野球〃小谷一起
剣道〃川端将太
ラグビー〃舟越恒平
ソフトテニス（団体の部）〃日野中学校女子ソフトテニス部



得点をみんなで喜び合う

22年ぶり全国大会へ

県消防ポンプ操法大会

鳥取県内各市町村の消防団の代表選手が消防ポンプ操作の技術を競う、第54回鳥取県消防ポンプ操法大会が、7月20日、鳥取港西浜地区埠頭（鳥取市）で開かれました。

大会では、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部の2つの部



選手それぞれの動きをすばやく正確にこなす

門で競技が行われ、ポンプ車操法の部には11チーム、小型ポンプ操法の部には8チームの選手が出場しました。

日野町消防団からは、7月6日の県西部大会の小型ポンプ操法の部で準優勝した第1分団の選手が、小型ポンプ操法の部に出場しました。

選手は、日ごろの練習の成果を発揮して確実な操法を披露、宮脇光男団長からは「よく頑張った。今ままで最高の操法を見せてもらった」との評価を受けました。

審査の結果、日野町消防団は小型ポンプ操法の部で見事優勝を勝ち取り、10月に東京都で開催される第21回全国消防操法大会に出場することが決まりました。

日野町消防団が全国大会に出場するのは22年ぶりのこと。活躍が期待されます。

出場団員（敬称略） 指揮者〃谷口若雄、1番員〃奥田研二、2番員〃佐野精彦、3番員〃西村和宏、補助員〃藤原康洋



ステージの最後は客席もいっしょに合唱

日野川沿いで活動する合唱団が一堂に集まって練習の成果を披露する。第4回日野川合唱フェスティバル(日野川合唱連盟主催)が、7月21日、町文化センターで開かれました。

今回は、町内をはじめ、日南町、江府町、伯耆町から8つの合唱団が出演、美しいハーモニーを聞かせました。

また、ゲストとしてソプラノ歌手の小椋美香子さん(米子市)も出演、鳥取市出身の作曲家、岡野貞一の作品を中心に、迫力ある歌声を披露しました。



刀を使った殺陣も見どころの一つ

町内で活動している劇団、お芝居くらぶさん・ふいーるど(佐野咲百合代表)の夏公演「SETTSUNA TO SOLA」が、8月2日・3日の2日間、町文化センターで上演されました。

物語は、架空の世界を舞台にしたファンタジー作品。出演者は、日常を離れた不思議な世界を演技力と手づくりの華麗な衣装、舞台装置で表現、客席の感動を呼びました。

なお、この公演の収益の全額は、財団法人骨髄バンク推進財団に寄付されます。

歌声でつながる日野川

日野川合唱フェスティバル



見事準優勝に輝く

根雨スポ小25周年記念大会

町内の少年野球チーム、根雨スポーツ少年団野球部の結成25周年記念大会が7月20日、根雨小学校と日野高校のグラウンドで開かれ、県西部・中部から8チームが出場しました。

根雨スポーツ少年団は、第1・第2試合を勝ち進み決勝戦へ出場しましたが、倉吉市の社スポーツ少年団に惜しくも破れ、準優勝となりました。

出場チーム(敬称略) 瀬田将太、生田真悟、袴田翔太、落合亮、佐野友太郎、西村浩貴、

生田蘭摩、松原成志、白根隆也、松本滉平、宇田川哲、檀田和希、落合錬、西村洲哉、石田新太郎

根雨スポーツ少年団からこのたび本大会が盛大に開催でき、関係者の皆さんに心からお礼申し上げます。

少子化の中、今の6年生が卒団すると残り9人となり、非常に厳しい状況です。団員を募集していますので、いつでも練習を見学してみてください。みんなでいっしょに野球をしてみませんか。君たちの持つすばらしい可能性をグラウンドで発揮してください。

連絡先 代表 瀬田(電話09073740277)

日常から離れた世界を表現

さん・ふいーるど公演「SETTSUNA TO SOLA」



一人で何匹もつかまえる子どももありました

アユに負けないうらい元気に

ひのっこ保育所アユつかみ

7月29日、町水産振興連合会(頭本尚憲会長)主催のアユつかみが、ひのっこ保育所で開かれました。

これは、子どもたちに魚とふれあうことを目的に毎年開かれているもので、頭本会長が「アユに負けないうらい元氣につかんでください」と話したあと、今回は300匹のアユが保育所のプールに放され、園児らは歓声を上げながら元気に泳ぎ回るアユをつかまえていました。

町営住宅野田団地 入居者募集

町営住宅野田団地の入居者を次のとおり募集します。

住宅の名称 町営住宅野田団地

所在地 野田249 1

規模・構造 木造2階建、2

DK

募集戸数 1戸

月額家賃 1万8000円

2万9900円(所得に応じて変わります)

敷金 家賃の3か月分

入居予定日 9月中旬

入居資格 次の 〳 の条件

を満たす人

町内に住所または勤務場所を有する人、町内に住所または勤務場所を有することが確定な人

同居または同居しようとする親族がある人(60歳以上の人または心身に障害がある人で同居親族がない人も含む)

入居予定者全員の合計月額

所得が20万円以下の人(所得計算については、公営住宅法の計算により算出します)

現に住宅がなく困っている人

町税を滞納していない人

申込方法 次の書類を役場産業振興課へ提出してください

申込書(役場産業振興課にあります)

入居者全員の所得証明書または源泉徴収票

入居者全員の住民票

申込期限 9月1日(月)

問合せ 役場産業振興課 担当 山県(電話72 2101)

鳥取短期大学

平成21年度特別講師募集

鳥取短期大学では、社会で活躍する一般市民を講師に招いて授業を行う「特別講師制度」を設けています。この制度により、学生たちは、社会の実態や実践的方法などを学び、実践的な知識・技術・教

養を身につけています。

このたび、平成21年度「特別講師」を募集します。採用された人には、鳥取短期大学が指定する科目の授業を1回ないし2回担当していただきます。

応募資格、応募締切は次のとおりです。授業を通して社会での貴重な経験を、人生における豊かな経験を若い世代に伝えたいと思われる皆さんのご応募をお待ちしています。

応募資格 山陰出身または応募時に山陰地方に在住しているか山陰地方を中心に社会的活動を行っている人で、豊かな教養・人生経験あるいは実践的な知識・技術を学生に伝えることができる人

応募締切 9月30日(火)(必着)

問合せ 鳥取短期大学教務課

(電話0858 26 181)

1)

教育委員会からのお知らせ

教科書採択について審議

8月1日、第8回の町教育委員会を開き、次の議案について審議・承認されました。

議案 平成21年度から使用する小学校教科用図書の採択について(21年度、22年度に使用(23年度に学習指導要領が変わる)する小学校の教科用図書は現在使用している図書が採択に相当であると、県西部地区教科用図書採択協議会で協議されたのを受けて日野町教育委員会でも審議し、採択することを承認しました。



8月1日付で、新しい行政相談委員に、小谷学さん(野田)が委嘱されました。行政相談委員は、総務大臣が、社会的信望があり、行政運営の改善に熱意がある民間有識者の中から委嘱しているもので、その仕事は、国の行政に対する苦情などの相談窓口になり、相談者への助言や関係行政機関に対する通知などを行い、苦情などの解決を図っていくことです。なお、小谷委員は、定期的に行政相談所を開き、皆さんからの相談に応じます。相談は無料で、秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

行政相談所は、毎月1回、山村開発センターと町公民館で交互に開かれます。次回は9月10日(水)午前9時～正午まで、会場は山村開発センターです。

新しい行政相談委員に小谷さん

9/22(月)

サロンコンサート part 4 ギターと歌おう

19:00 開演 (18:30 開場)

会場 町文化センター / ホワイエ

出演 永井達也さん(米子市)

カントリーバンド「浜坊風」に所属し、県西部を中心に活躍。米子市内の笑い通り商店街にある地域交流センター田園で「うたごえ喫茶」を復活、現在は毎月2回開催中。

主な曲目: 「千の風になって」「ああ人生に涙あり」「里の秋」など

料金 500円 (1ドリンク付き)

チケットは町図書館で取扱っています

主催 ホールと共に歩む会

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1484

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

図書館の展示コーナー

木島写真館

木島千隼さん

昔なつかし写真展

9月1日(月)～29日(月)

木のおもちゃづくり

9月21日(日) 9:30～

場所: 図書館車庫

「お月見うさぎ」の組み木、パズルなど(要材料費)

図書館おはなし会

9月27日(土) 10:00～

場所: 図書館絵本コーナー

おじいちゃん、おばあちゃんの絵本、おはなし、わらべうたなど(参加無料)

サイエンスアカデミー講座

9月27日(土) 10:30～

場所: 図書館郷土資料コーナー

テーマ: 「湖沼の保全と再生」

講師: 県衛生研究所 特別研究員 宮本康さん



会場 延暦寺(根雨) 入場無料

講師 佐々木孝文さん

(鳥取市文化課、大正イマジュリー学会会員)

主催 「白つつじの会～生田長江顕彰会～」

問合せ 白つつじの会事務局

(町図書館内 電話 72-1300)

「白つつじの会」会員募集中

・年会費 2,000円

・各種研修会、入門セミナーのご案内、機関紙をお届け

・長江作品の複本作成、ホームページ、PRビデオ作成など

申込み・問合せは、町図書館内 白つつじの会事務局(電話 72-1300)まで

9/27(土)

13:30～

長江と鳥取人脈

生田長江入門セミナーパート5
町歴史研修会公開講座

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

友達・家族を見つめ直した3泊4日

小学生生活体験合宿

7月29日から8月1日までの4日間、小学生生活体験合宿を町公民館で開きました。

町内の小学4年生と5年生9人が参加し、さまざまな経験を通して自分を見つめ直すことや友達と支え合うこと、規則正しい生活を身に付けること、そして、家族の大切さに気付くことに取り組みました。

【1日目】

早速、昼食を協力して作り始めました。

元気のある子どもたちは、食生活改善推進協議会のみなさんに教わりながら、初日のメニューである「焼きそば」を作りました。



みんなで作ればおいしくなる

大雨・洪水注意報発令により、外での体験活動は中止し、

公民館の中でオリジナルストラップ作りとクルクルトンボ作りをしました。

地域の先生、坪倉敏先生が楽しく話をしながら、子どもたちが木を削りストラップを作りました。

小刀の使い方から悪戦苦闘する子どもたち。それでも真剣な表情で木に向かう姿が見られました。

【2日目】

6時に起床し、泉龍寺に座禅に行ったあと朝食をみんなで作って食べました。

体験活動は「沢遊び」を行いました。天郷川の上流を指して歩き、途中、大きな淵で魚釣り。

みんなが1匹とはいきませんでしたが、魚を狙う真剣な

眼差しには熱いものを感じました。

沢に入ると子どもたちは大騒ぎ。冷たい清流に身を縮めながら泳ぎました。滑る石に足をとられ、ザブーンと転びました。みんな笑顔で楽しみました。



ずぶぬれになっても楽しいね

【3日目】

体験活動は都合山たたら跡を見学に行きました。地域の方が整備された山道を汗を流しながら一生懸命歩きました。たたら跡では、鳥根県立古代出雲歴史博物館の角田学芸員にたたら歴史について学び、難しいながらも目で見てその内容を体感しました。



ほぼ完全な姿が残る都合山たたら跡

夕食はみんなで「手作り餃子」にチャレンジしました。包み方を教わりながらたくさん餃子ができ、おいしく食べました。

【4日目】

「来たときよりも美しく」を合言葉に、みんなで公民館の中をきれいに掃除しました。そのあと、4日間を振り返って、楽しかったことや頑張ったことなどについて発表し合い、成果を確認しました。

生活体験合宿でお世話になった「地域の先生」の皆さんありがとうございました。子どもたちの成長には皆さんの力が必要です。今後ともよろしく願います。

悪質商法には 断る勇気を持って

第4回おしどり学園

7月18日、第4回おしどり学園を町公民館で開き、一般教養講座では、「日々進化する悪質商法について」と題し、鳥取県立消費生活センター次長、坂本彰浩さんによる講演を行いました。

まず坂本さんは、消費生活センターの役割について、「自立した消費者の育成や皆さんの安全安心な暮らしの確保のためにあり、仕事の内容は消費生活相談が主である」と説明しました。

その中でも振り込め詐欺は、県人口約61万人のうち、47人に1件相談がある状態で、友達の借金の肩代わりや交通事故故、会社でのミスの損失補てんなどをかたり、言葉巧みに現金を振り込ませるという手口があるそうです。

また、振り込め詐欺は平成13年ごろから平成15年ごろにかけて急増しましたが、今では対処方法が分ってきており減少傾向になっているとのこと。県内での平成19年度の被害

害総額は約1億3千万円で、日ごろから振り込め詐欺にあっている人でも被害にあっているのが現状です。巧みに信じ込ませる手口に、他人事ではありませんと注意を促しました。そして、慌てず・急がず・まず相談をすることとアドバイスをされました。

悪質商法は中高齢者を狙っており、騙された側は、孫のように親切にされ騙されたことに気付にくいこと、被害にあっても「家族に知られたくない」「騙された自分が悪い」と思ってしまう相談しないことから被害が表に出ない



被害が身近に感じられた寸劇

ケースがあるとのこと。悪質商法の基本的な手口は、突然の訪問や電話、メール不安をあおる、即断を迫る、困惑させる、といったものです。

トラブルにあわないための5か条

ハッキリ断る。Noと言え

うまい話はこの世にない。まず疑い、高額契約は要注意!

見知らぬ人の親しげな接近に注意

うかつに押印・署名しない
困ったときは1人で悩まない

また、もし契約してしまつたあとでも一定期間内なら一方的に契約を解除できる、クーリングオフ制度を利用することもできるとの説明もありました。

学園生は訪問販売の寸劇を見ながら、振り込め詐欺や訪問販売などの悪質商法が身近に起こりうることを理解し、日々の生活で注意することを誓いました。

学園生以外の人にも講演を聞きに来てください ～第6回おしどり学園のご案内～

日時	9月19日(金) 午前9時30分～
場所	町公民館
内容	転倒・転落防止の運動について (講師の都合により変更することがあります)
問合せ	町公民館 (74-0212)
その他	当日は町営バスを臨時運行します

グループ専門講座「健康」からお知らせ

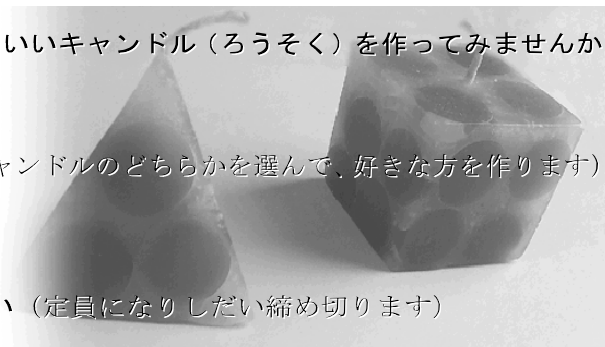
おしどり学園グループ専門講座「健康」では、健康をテーマに、毎月あらゆる分野から講師を招き学習します。

9月は、「日常生活におけるウォーキングの知識と実技」について学びます。講師は健康運動士の松田万里さんです。動きやすい服装で、タオルを持って参加ください。学園生以外の人もお気軽に参加ください。お待ちしております。

手作りキャンドル教室のお知らせ

かわいいキャンドル(ろうそく)を作ってみませんか

日時	9月7日(日) 午前10時から2時間程度
場所	町公民館
内容	キャンドル作り(モザイクキャンドルかパーツキャンドルのどちらかを選んで、好きな方を作ります)
講師	キャンドル作家 hanaさん(米子市)
対象	高校生以上の女性(定員10人)
参加費	2,000円(材料代とお茶代)
申込み	町公民館(電話74-0212)まで申し込んでください(定員になりしだい締め切ります)



りんぽかん 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



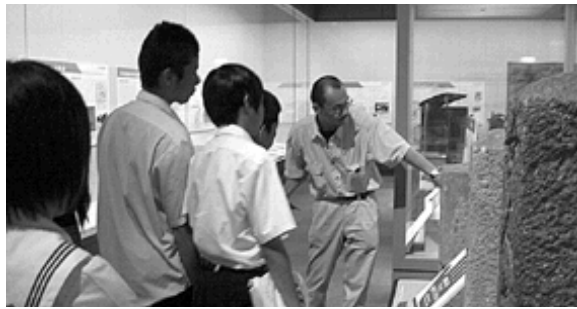
陶芸に挑戦

緊張しながらも楽しい作業

陶芸は初めてという人がほとんどで、講師の塚本正夫さんをはじめ町公民館陶芸グループの松本さん、西村さんの指導のもと1回目は粘土をこねることから始めて、お皿や抹茶茶碗など思い思いの形をつくりました。2回目は素焼きされた作品に色付けをして焼きに出しました。焼き上がりを楽しみます。



形ができた作品。焼きあがるのを待つばかり



解放運動の歴史を知る

1日目は、大阪人権博物館に行きました。こは、部落問題をはじめとする人権問題についての調査研究を行うとともに、関係資料や文化財を収集・保存し、また展示・公開しているところです。

その中で、全国水平社創立大会を疑似体験できるフアンタビユーシアターをより熱心に見学していました。また、博物館の向かいには、西光万吉の生家である西光寺も見る事ができ、生徒たちの念願がかないました。

榎の実学習会 現地視察研修

榎の実学習会の中学生が、夏休みを利用して、7月30日・31日の2日間、現地視察研修に出かけました。

最初に研修支援として博物館職員から話を聞き、館内を見学しました。生徒たちは、熱心にメモをとりながら館内をまわりました。

9月の学習講座予定
■編み物 13日(土) 午後1時～
老人憩の家 (講師 安達利子さん)
■生け花 16日(火) 午後7時30分～
下榎集会所 (講師 生田清子さん)
▼日程など変更になることがあります。
詳しくは下榎隣保館へ▼どの講座も2時間の予定です。お気軽に参加ください



これで宿題もバッチリ

▼夏休み勉強会
夏休み勉強会を7月29日・30日の2日間、下榎集会所で開催しました。この勉強会は、榎の実学習会が、どんなところでどんなことをしているのかなど、みんなに知ってもらうために昨年から根雨小学校が行っている学習会です。参加した児童は、夏休みの宿題などを持ち寄り、友達と教えあいながら学習しました。

人権のまち

ひの

2008年8月

第33回部落解放・ 人権西日本夏期講座に 参加して

山本 武史

世界人権宣言の精神の
普及を目指して

7月16日、17日、佐賀県総合体育館で開かれた部落解放・人権西日本夏期講座に参加してきました。

講座では、はじめに主催者を代表して実行委員会代表の寺本伸明さんがあいさつし、「世界人権宣言が採択されてから60年。この世界人権宣言は、差別を撤廃し、人権を守ることが恒久平和の実現に通じるという考え方を基本理念とし、すべての国や市民が達成すべき共通の基準である。」

国の内外では、この理念に基づき様々な取り組みが展開されてきた。しかしながら、人権状況を直視した際、改めて世界人権宣言の精神を普及するとともに『人権救済法』(仮称)の早期制定や人権尊重の町づくりに向けた取り組みを強化する必要がある」と力強く語り、講座が始まりました。

差別事件の実態を知り
自分を振り返る

パネルディスカッションでは、「悪質な差別事件と人権救済法の制定を目指して」と

題して、2つの連続大量差別八ガキ事件の報告がありました。報告者は、「毎日、家のポストを開けるのが怖かった。一番苦しんでいるのは母親としての連れ合いであり、一番の犠牲者は3人の子どもたち。その心境は親としても伺い知れない。また、子どもは『親がまた心配するだろう』と、いつて隠したこともある」と話されました。

この報告を自分に置き換えたととき、4年以上も悪質な差別が繰り返される中、家族を守る事ができるのだろうかと思ひ、全ての人たちが安心して暮らせる社会を作るために、標題にある人権侵害救済法の制定や、コーディネーターが例にあげていた鳥取県条例の施行を強く望みました。

人との出会いと経験が
自分を変える

「人権教育の広がり」教室

から、地域・職場へ」の講演では、今どきの子どもたちの特徴として、固定的・閉鎖的な人間関係、同調志向が強く、心の中は自分の気持ちの伝え方がわからなく、また、トラブルの解決の仕方かわからない。したがって攻撃的な行為や自虐的な行為に走ってしまうということ、ケータイ・ネット問題を通して話されました。

また、「人権教育は人と人をつなぐとして、出会いと体験によって価値観が変わる。自分を語ることで他者とつながる。『人権学習って、ぬくいなあ』と思えるように、人権学習と人間関係づくりの統合が重要である。様々な人権問題の根っこは同じ、多様な共生社会に向けて『みんな同じ』から『みんな違ってみんないい』への転換が必要である」と話されました。

「多様な人間との出会いで子どもは変わる」と話された

とき、子どもとの出会いで大人も変わると強く思いました。
学習の成果を
地域・職場で実践して

保育所、小学校、中学校の人権学習の中で子どもたちの思いに触れたとき、いっしょに学習している私たち大人や家族の考えが変わります。それは、親として、家族として子どもを一番願っているからです。人権問題を通して、自分の生き方、人とのかわり、社会とのかわり、考えながら、小地域座談会や地域や職場での人権学習・実践につなげていきましょう。
この2日間の研修は、自分にとつてとても有意義で、自分を振り返ることのできた研修でした。



おひさまひろば だより



日野町子育て支援室「おひさまひろば」では、保育所に入所していない子どもたちを迎え、親子で楽しく遊んでいます。毎回ボランティアの皆さんにもお世話になっています。

開設日 毎週水・金曜日 午前9時～午前11時
金曜日は、参加者が親子で自由に利用いただける日です。(お茶は各自で用意してください)

9月の開催日

- 3日(水) = 野菜などを使ったスタンプ遊び
(家に野菜があればお持ちください)
 - 5日(金)
 - 10日(水) = 小麦粉粘土遊び
 - 12日(金)
 - 19日(金) = 子どもとメディア出前講座
(ページ右をご覧ください)
 - 24日(水) = 町図書館からのおはなし会
 - 26日(金) = 保健師による子育て相談
- 17日(水)はお休みします

7月は屋外でたくさん水遊びをしました。中庭にある小さな井手川に入り、タニシやヤゴを見つけたり、カニやカエルを捕まえて遊びました。おばあちゃんといっしょに参加する人も増えてきました。

9月は涼しくなり活動しやすくなります。講演会も予定していますので、皆さんお誘い合わせお越しく下さい。

連絡先 ひのっこ保育所(電話 72 0238)
役場健康福祉課(電話 72 0334)



7月：水遊び
水遊びって面白いよね。冷たくていい気持ち。水鉄砲や魚釣りでいっぱい遊んだよ。

子どもとメディア出前講座

日時 9月19日(金)午前10時～午前11時30分
場所 山村開発センター 2階研修室
講師 子ども未来ネットワーク 渡辺万里子さん
演題 「子どもの生活とメディア」
主催 親子でアートを楽しむ会「おひさま」

こころの散歩道 日野町俳句同好会 選

八雲立つみ空まさをに夏袂(はつた) 悦子
遠き日の母を看取りつ見た花火 安達つるゑ
竹落葉天の真名井(まない)に降りそそぐ 荒木 習子
文月や息子自慢の西瓜かな 梅林 春子
老鶯(おうりょう)の声日々細り別れとも 勝瀬 京子
いつの間に少女となりし風薫る 川上 文子
像なれど暮の置石陽に灼けて 久城 霞溪
蛩(せむし)に遊ばれおりし月なき夜 徳本千鶴子
本殿にをみな(みな)の祢宜(ねぎ)の夏袴 眞壁富貴枝

(五十音順)



観光ツアーに組み込まれるなど、近年全国的に人気が高まっている工場見学。ものづくりの過程は、見れば見るほど好奇心がわいてきます。鳥取にも全国、世界に誇る製品を作るさまざまな工場があります。工場見学の面白さとともに、鳥取の産業を紹介します。

年4回発行 最寄りの書店または役場企画政策課で
購入できます 1冊300円

鳥取県の総合情報誌
とっとりNOW
第79号 9月1日発売

編集後記

今年の夏もやっぱり猛暑でした。鵜の池マラソンの取材のときは不覚にも熱中症にかかってしまいました。しかし重症にならずに済んだのは、家でエアコンなしの扇風機生活で慣らしているからでしょうかね...。(i)

氏名	年齢	住所
奥田 猛	81歳	下榎
新 茂	79歳	根雨
宇田 浩訓	75歳	下榎
田口 仁	69歳	下榎
西村 久代	93歳	福長
小谷 功	86歳	津地

赤ちゃん誕生
おめでとございます

おくやみ
ご冥福をお祈りします

赤ちゃん誕生

届出 7月11日～8月7日 敬称略

7月31日現在

わたしの町	
(前月比)	
人口	4,058人 (-7)
男性	1,903人 (-3)
女性	2,155人 (-4)
世帯	1,540戸 (-1)

9月 ぐらしのカレンダー

長月 (SEPTEMBER)



1 月	町県民税 2 期分、国民健康保険税 2 期分、介護保険料 2 期分、後期高齢者医療保険料 2 期分納期限
2 火	法律相談 開発センター 午後 1 時～ 申込み：町社会福祉協議会 (74-0338) 8 月 29 日 〆切 乳児健診・BCG 予防接種 開発センター 受付：午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分
3 水	子宮がん・乳がん検診 町公民館 対象地区： 黒坂 1～7 区 (受付：午後 1 時～午後 2 時) ----- 不燃ごみの収集日 (全町)
4 木	
5 金	人権相談 開発センター 午後 1 時～午後 3 時
6 土	
7 日	
8 月	健康相談 町公民館 午前 9 時～午前 10 時
9 火	歯科検診・フッ素塗布 開発センター 受付：午前 9 時 30 分～午前 9 時 45 分、午後 1 時～午後 1 時 15 分
10 水	行政相談 開発センター 午前 9 時～正午 ----- 胃がん・肺がん・大腸がん検診 開発センター 対象地区：板井原、濁谷、門谷、秋縄、三土、 舟場、津地、安原 (受付：午前 8 時～午前 9 時、 胃がん検診を受けない人は午前 9 時～午前 10 時) ----- 資源ごみの収集日 (全町)
11 木	胃がん・肺がん・大腸がん検診 開発センター 対象地区：下榎 1・2 区、上・下本郷、榎市、 小原、別所 (受付：午前 8 時～午前 9 時、胃が ん検診を受けない人は午前 9 時～午前 10 時)
12 金	
13 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後 1 時～
14 日	
15 月	敬老の日 (可燃ごみの収集は休みます) 16 日に月曜日の地区も収集します
16 火	子宮がん・乳がん検診 町公民館 対象地区： 久住、下黒坂、根妻、下菅、中菅、中菅中央、近江 畑、小河内、布瀬谷、下・中・上上菅、井ノ原、諏 訪、漆原、下福長 (受付：午後 1 時～午後 2 時) ----- 全町の可燃ごみを収集します

16 火	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後 7 時 30 分～
17 水	子宮がん・乳がん検診 開発センター 対象地区：根雨 1～5 区、高尾、後谷、金持、 板井原、濁谷、門谷、秋縄、三土 (受付：午後 1 時～午後 2 時) ----- 古紙・RPF (布) の収集日 (全町)
18 木	
19 金	
20 土	
21 日	
22 月	全町の可燃ごみを収集します
23 火	秋分の日 (可燃ごみの収集は休みます) 22 日に火曜日の地区も収集します
24 水	ペットボトルの収集日 (全町)
25 木	
26 金	
27 土	
28 日	町民体育祭 根雨地区大会：根雨小グラウンド、 黒坂地区大会：黒坂小グラウンド
29 月	
30 火	1 歳 6 か月児・2 歳児健診 開発センター 受付：午後 1 時 15 分～午後 1 時 30 分 国民健康保険税 3 期分、介護保険料 3 期分、 後期高齢者医療保険料 3 期分納期限

ミニギャラリー情報 (町内の展示コーナーを紹介します)

山陰合同銀行根雨支店
「佐々木恭三さん武者絵展」8 月 18 日～9 月 19 日まで
「洋画グループ作品展」9 月 22 日～10 月 24 日まで

蔵美術館
「岡野三郎【秋の大山】」9 月 1 日～10 月下旬まで

県西部地震展示交流センター
「鳥取県西部地震から 8 年『あのとき』写真展」
9 月 2 日～11 月 26 日まで

直	総務課	72 0331	企画政策課	72 0332
通	健康福祉課	72 0334	産業振興課	72 2101
電	議会事務局	72 0335	農業委員会	72 2103
話	学校給食センター	72 1167	地域包括支援センター	72 1852
	役場代表番号 (夜間・休日) 72 0331			

住民課	72 0333	出納室	72 2105
黒坂支所	74 0211	町公民館	74 0212
教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300
ひのっこ保育所	72 0238	下榎集会所	72 1191

町長の定期便

第29回

情報格差解消に町も努力を

今年の夏はこのほか暑いなと思いますが、皆さんはいかがでしょう。日中は紫外線も強く感じて、外出がおっくうになります。熱中症にならないよう注意してください。

私は、こう暑くなると、涼しくて静かに読書が楽しめる町図書館に行くことにしています。

ここは、県下の町村立図書館の中では、三朝町と比較されるくらい評価の高い施設です。小説の多さや新刊本、子どもたちの絵本などもたくさんありますし、ミニギャラリーも好評です。最近の健康志向の人のための棚には健康情報誌、闘病記文庫として工夫されています。また、ほかの図書館にはない「木のおもちゃ」も貸し出している、入りやすい図書館です。どうぞ足を運んでみてください。

今や携帯電話の普及率は7割近くになっています。しかし電波が届かない地区もあります。これら不感地区解消に対する皆さんの強い要望に対応するため、町ではいろいろな取り組みを進めており、国、県、各事業者への要望もその一つですが、早速その反応がありました。携帯電話事業者からの鉄塔設置の話です。門谷（整備済み）、上本郷（整備中）、荒神原、金持、中菅、濁谷地区に設置したいとのことでした。町としては、これらの実現に向けて積極的に取り組んでいるところです。

町民はもとより、来町される人たちの大切な通信手段でありますので、今後も残りの不感地区解消のため努力してまいります。鉄塔用地のご提供につきましてもご協力を切にお願いいたします。（8月3日記）

日野町長 景山 享弘



冷たいそうめんに飽きたらこれ
あっさりスープでヘルシーに

町食生活改善推進協議会さん料理 54 オススメ料理



そうめんスープ

【材料】 4人分

- そうめん (40g)
- 鶏ささみ (40g)
- 白ねぎ (20g)
- オクラ (20g)
- スープ【だし汁 (4カップ)、しょうゆ (小さじ2)、塩 (小さじ1/8)】

【作り方】

- ①そうめんは半分に折ってゆでる
- ②ささみは細く切る
白ねぎは5センチ長さの千切りにする
オクラは小口切りにする
だし汁を煮立て、ささみ、オクラ、白ねぎを入れ、火が通ったらそうめんを加え、しょうゆ、塩で味を付ける



『はにかみ王子。ハイ、ポーズ』
撮影 諏訪問幸児さん（岡山県倉敷市）

オシドリ

VOL. 126



50円切手
「新しい50円切手の図柄はオシドリ。とっても美しい色合い。日野町のために作ったみたい」そんな弾んだ声が聞こえてきます。オスの特徴であるイチヨウ羽、冠羽、ひげ羽がとっても素敵にデザインされています。あなたもオシドリの絵はがきにオシドリの切手を貼って、全国津々浦々羽ばたかせてください。

【連絡先】 オシドリグループ事務局

森田（電話72 0271）